

□ 要請番号 (JL01816B03)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
タイ	G157 日本語教育		グループ型	新規	2年	・ 2017/2

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育省

2) 配属機関名 (日本語)

サードパダームウィッタヤ中高校

3) 任地 (チュムポーン県チュムポーン) JICA事務所の所在地 (バンコク)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機+車 で 約 3.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

1924年代に設立された、生徒総数約2750名、教職員約190名の公立中高一貫校。日本語教育は、2012年に普通プログラムが、2014年に日本語授業数が多い特別プログラムが追加開設され、大学で日本語を専攻した3人のタイ人教師が常勤している。外国語学部には日本語の他、英語と中国語のプログラムがあり、合計で約25名の教師がいる。この地域管轄の日本語教育センター校(トラン県ウィチェンマトゥ中高校、JV継続派遣予定)主催のコンテストやキャンプへは今年から参加予定である。中学生対象の日本語・日本文化紹介クラスもある。年度は5月～9月、11月～3月の2学期制。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

ミャンマーと国境を接するチュムポーン県で、日本語を重要な学習言語として認識し、タイ人日本語教師を3名常勤させている当該校へJVを派遣し、日本語プログラムの質向上を支援することは、この地域の日本語普及のためにも大切である。この地域管轄の日本語教育センター校の周辺校として、今後ネットワークの強化を図るためにも、JVの派遣が望まれている。以前JVが派遣されていた同市内の周辺校と当該校の協力関係が構築されていることから、巡回指導の拠点として他の学校への支援も提案されている。また、JVとの協働を通して、タイ人日本語教師の日本語運用能力向上が期待される。国境沿いの日本人の少ない地域で日本語教育を支援することにより、日本に関心を持つ若い層が広がり、その中から将来タイと日本の架け橋になる人材が育つことを期待している。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- ・授業の実施(タイ人教師との協働:会話・日本文化。約15コマx50分/週)
- ・タイ人教師の日本語運用能力向上支援(日常会話、授業に係る協議、教材作成等を通して)
- ・生徒を対象に、日本語コンテスト、日本語キャンプ、日本語能力試験の参加・受験に係る支援
- ・日本語コンテストや日本語キャンプ実施に係る支援(会議へ出席、参加生徒の引率、キャンプ・プログラムの企画と実施、その他)
- ・生徒を対象に、日本語能力試験(JLPT)受験準備の支援
- ・日本語教育JVグループ派遣に係る活動(情報共有、会議参加など)

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

「みんなの日本語」(文法)、「あきこと友だち」(文字)、「こはるといっしょに ひらがなわあ〜い」(会話、ICT教材、絵カード、プロジェクター、プリンター、ホワイトボード)

4) 配属先同僚及び活動対象者

タイ人日本語教師3名、女性、20～30代、大学で日本語専攻。
教師1:日本語教師歴2年、日本留学1年

教師2:日本語教師歴6か月
教師3:日本語教師歴6か月
外国語学部:約25名、内6名外国人教師
日本語学習者:高校生約150名; 中学生約30名

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
タイ語	タイ語	

【資格条件等】

[免許]：（日本語教授法）[学歴]：（大卒）備考：同僚が大卒であるため
[性別]：（）備考：[経験]：（）備考：

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯モンスーン気候）気温：（21～35℃位）[電気]：（安定）
[通信]：（インターネット可電話可）[水道]：（安定）

【特記事項】

活動における、同僚日本語教師との会話や授業は日本語、その他はタイ語。